

令和
元年度

浦安の子どもたちの 確かな学力の向上を目指して

浦安市学力調査結果

令和元年6月7日実施

1 目的

- (1) 市立全小・中学校の児童生徒の学習指導要領に示された基礎的・基本的な内容の定着状況を客観的に把握する。
- (2) 調査結果から授業改善に生かすとともに、指導方法の改善を図る資料とし、個に応じた指導や確かな学力の向上を図る手立ての一助とする。

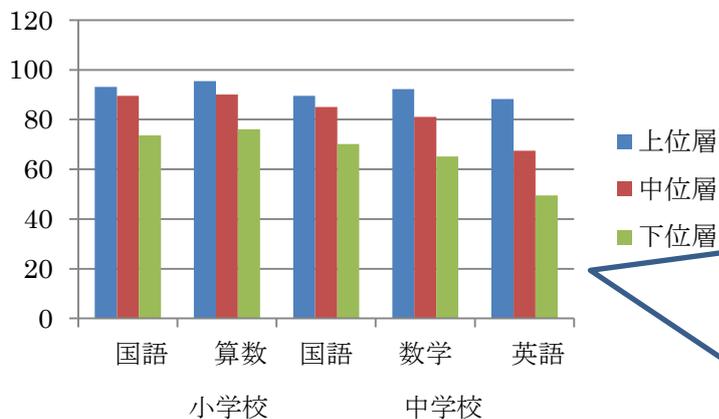
- 2 対象学年と教科 小学校第4学年（国語・算数）
中学校第2学年（国語・数学・英語）

結果概要

正答率（浦安市・全国）

	浦安市	全国（公立）		浦安市	全国（公立）
国語	74.7	70.2	国語	77.0	72.9
算数	72.4	74.9	数学	66.9	62.1
			英語	71.7	62.3

「国語、算数・数学、英語の授業は、分かっている（中学校 理解している）」の質問に、肯定的に答えた児童生徒の割合を上位層、中位層、下位層の3段階の区分で見ると下のグラフのようになります。



「分かっている（理解している）」と回答していない児童生徒がいます。特に下位層では

小学校 国語 26.4%
算数 24.0%
中学校 国語 29.8%
数学 34.9%
英語 50.6%

分かっている（理解していない）と回答しています。

どのように授業づくりをしていけばよいでしょう。

「ねらい」を明確にして、毎時間の授業でねらいが達成できたか、確認することが大切です

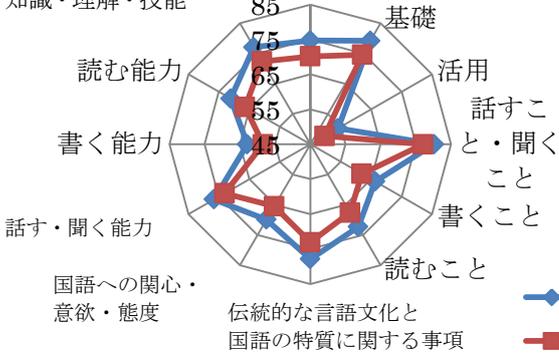
児童生徒に身につけさせたい力（ねらい）を明確にし、学習の見通しをもち、児童生徒の主体的な学びへとつなげていくことが大切です。ねらいの達成につながる発問を検討し、授業の終わりに、ねらいが達成できたか学習を振り返りましょう。

小学校・国語

中学校・国語

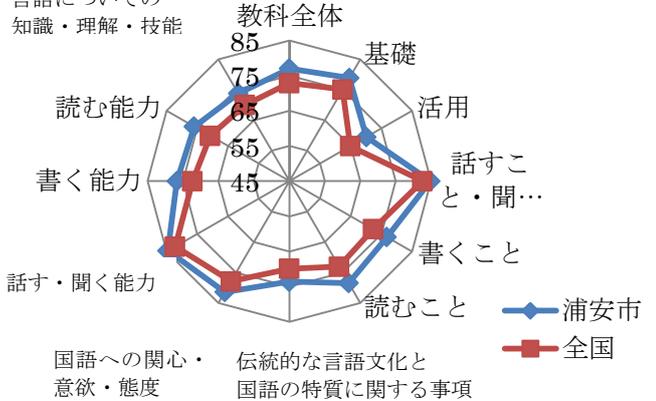
国語科に限らず、どの教科でも「書く活動」を日々の学習に適切に位置づけましょう。新聞・雑誌・本等、様々な資料にふれ、豊かな表現力を身につけるためにも、学校司書との連携、学校図書館の活用を図りましょう。

言語についての知識・理解・技能



小中共に「書くこと」に課題が見られます。

言語についての知識・理解・技能



小学校・・・ 6(1)

課題が見られた主な設問

中学校・・・ 6(1)

出題の趣旨

表と文章を読み取って、適切な言葉を補って文章を書くことができる。 ※第3学年までの内容

出題の趣旨

文章の内容を正確にとらえ、伝えたい事柄を明確にして書くことができる。 ※第1学年までの内容

【発表用の文章】

わたしは、クラスの人の習い事について調べました。【表】を見てください。クラスの三十人のうち、五分の四にあたり、多くの人が習い事をしていていいます。

わたしがおどろいたのは、習い事の日数です。いちばん多かったのは週に二日の人で、九人でした。でも、その一方で、週に五日または六日習い事をしている人が八人もいました。ほとんどの毎日習い事している人が、なぜこんなに多くいるのでしょうか。その理由は、習い事を一つだけではなく、いくつもしている人が多いからだと思います。どんな習い事をしていくかをきくと、合計が二十四人より十二人も多くなったので、そのように考えました。

【発表用の文章】の□にあてはまる文を書きましょう。

【正答例】
二十四人が習い事をしていました。

	男子(人)	女子(人)	合計(人)
している	13	11	24
していない	2	4	6
合計(人)	15	15	30

	男子(人)	女子(人)	合計(人)
2日	5	4	9
3日	2	2	4
4日	1	2	3
5日	4	3	7
6日	1	0	1

	男子(人)	女子(人)	合計(人)
水泳	4	4	8
サッカー	5	2	7
野球	5	0	5
習字	2	3	5
ピアノ	0	4	4
そろばん	1	1	2
その他	2	3	5

平均正答率 浦安 54.8 % 全国 48.6 %

【発表用の文章】

【記事の「A」に入る文を「い」～「で」で「何が」「どうした」のかがわかるように書きなさい。

【正答例】
五月三日、県営球技場で、サッカーの県大会決勝が行われた。

【号外】 南野中新聞

サッカー部 見事に県大会準優勝！

二対一で北山中に敗れ、惜しくも準優勝となったが、選手たちは先制するまで日頃の練習の成果を発揮し、奮闘した。県大会準優勝は、南野中サッカー部史上最高の成績である。

【記事本文】

【A】

【B】

平均正答率 浦安 46.2 % 全国 40.9 %

他学年・他教科で育てる力

小学校

中学校

- ① 「その理由は」「～のためである」「例えは」などの表現の使い方について指導し、これらの表現を使って文章が書けるように指導する。
- ② 相手や目的に応じ、常体と敬体を使い分けられるようにする。文章を書いた後は、自ら推敲し文末の表現が統一できるように意識させる。
- ③ 学校図書館を活用し、適切な図書資料を選択して、わかったことや感想などを書く活動を積極的に行う。

- ・算数、理科、社会など表やグラフから読み取れることを、日常的にノートに書かせる。
- ・読書活動を通して、言葉を豊かにしたり、様々な情報を得たりできることを積極的に味わわせる。

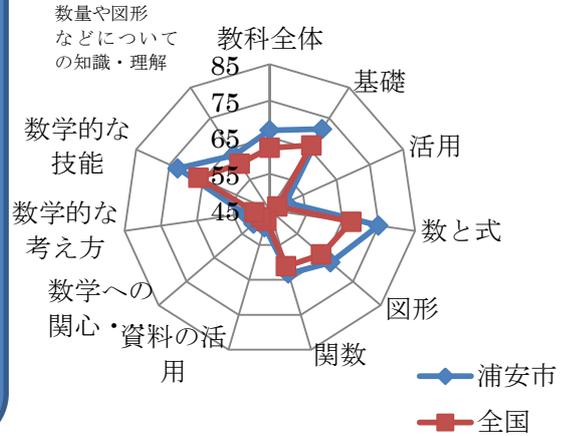
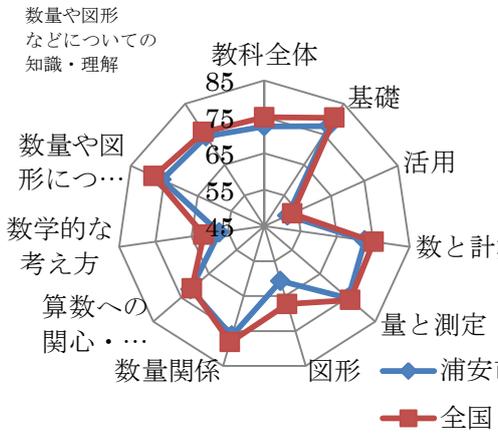
- ① 中心となる文に注目し、文章の要旨を捉え、それに対する自分の考えを具体的な根拠を挙げて書くように指導する。
- ② 目的や相手を意識し、伝えるために必要な観点を明らかにしマッピングなどの思考ツールを活用し情報を集めさせる。
- ③ 根拠は十分か・相手意識はあるか、などの観点から交流させ、再度自分の書いた文章を確認させる。

小学校・算数

中学校・数学

小学校では「図形」領域に課題が見られ、中学校では身につけた知識を活用して新たな課題を解決したり、自分の考えを伝えることに課題が見られます。習熟度別少人数授業などを活用し、個に応じたきめ細かい指導が必要です。

小学校では、基礎基本の定着を図るとともに、解法を知るだけでなく、数学的な理解を深めることが必要です。中学校では、身につけた知識がどのような場面で活用できるのかを考え、日常生活とのつながりを持たせることが大切です。



小学校...**13**

課題が見られた主な設問

中学校...**22**(3)

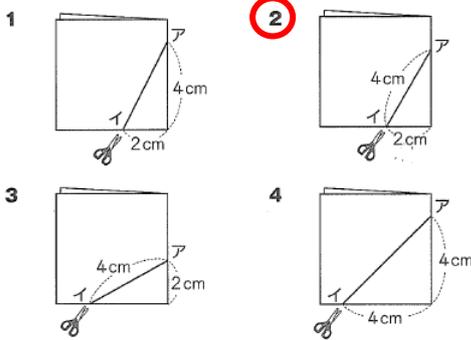
出題の趣旨

正三角形の性質や構成要素を理解し、図形を多面的に捉えることができる。 ※第3学年の内容

出題の趣旨

資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。 ※第1学年の内容

下の図のように、長方形の紙を2つにおり、直線アイにそって切ります。この紙を開いたとき、正三角形ができるものはどれですか。



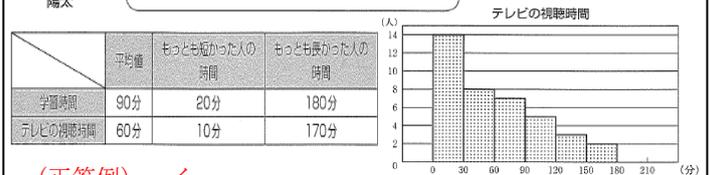
平均正答率 浦安 32.4% 全国 44.3%

陽太さんのいっていることは、正しいですか。次のア、イから1つ選びなさい。また、選んだ理由を説明しなさい。



わたしのテレビの視聴時間は、60分です。これは、テレビの視聴時間の平均値と同じなので、わたしよりテレビをみている時間が長い人と短い人の人数は、同じだということがわかります。

ア 正しい
イ 正しくない



(正答例) イ
テレビの視聴時間のヒストグラムをみると、60分未満の生徒が22人、60分以上の生徒が17名いることがわかるから。

平均正答率 浦安 32.9% 全国 33.1%

他学年・他教科で育てる力

小学校

中学校

- ① 図形に直接触れ、分解や合成、回転、反転等いろいろな見方を経験させる。
- ② 自分の考えを持たせるための時間を確保し、個に応じた支援を充実させる。
- ③ グループ活動を取り入れる場合は、その意図を明確にし、学習内容に適した活動を設定する。
- ④ 式や説明を振り返り、得られた結果を捉え直す。

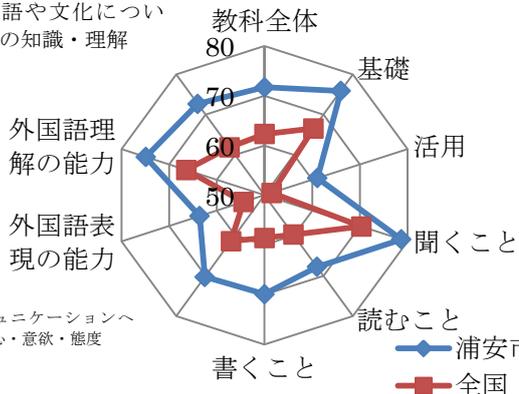
- ・ 具体物を操作したり、デジタル教科書を活用したりしながら、図形についての見方や感覚を豊かにする。
- ・ ICTを活用して自分の考えをまとめたり、説明したりする機会を意図的に設定する。

- ① 日常生活における場面と結び付け、自ら課題を見つけ解決の見通しを持たせる。
- ② 問題解決に必要な知識や考え方について説明する場面を設定する。
- ③ 問題解決とともに、新たな課題を見出し、多角的に捉えさせる。
- ④ 問題を批判的に考察し、説明することや、反例をあげることで、統合的に考察させる。

中学校・英語

「外国語表現の能力」に課題が見られます。小学校6年間の外国語への慣れ親しみを生かし、ALTの話す英語を聞き、自分の考えを整理して「書く」活動を積極的に行いましょう。

言語や文化についての知識・理解



コミュニケーションへの関心・意欲・態度

コミュニケーションの目的や場面、状況を設定した言語活動をとおして、外国語表現の能力をさらに高めていきましょう。

書くこと9(2)

出題の趣旨 英語でたずねる文を書くことができる。
(交通手段をたずねる)

次のような場合、英語でどのように表現しますか。3語以上の英文1文で書きなさい。

相手に、どうやって学校に来るかたずねる場合。

【正答】(例) How do you **come** [go] to school?

平均正答率 浦安 25.5% 全国 30.3%

【無回答率】 浦安 16.9%

手段を表す疑問詞 How の使い方を正しく理解できていない。また、質問に答えることに慣れていても、疑問詞を用いて「たずねる」ことに慣れていないことが考えられる。

聞くこと3(1)

出題の趣旨 英文の要点を聞き取ることができる

これからタカシのスピーチを報告します。その英文を聞いて、次の質問の答えとして最も適切なるものを、それぞれあとの1～4の中から1つずつ選びなさい。

I'm Takashi. I live in Sendai. I have a good friend in London. His name is Bob. Last summer I went to London and visited his house. Bob and I like soccer. We played it with Bob's friends in London. My English was not good, but I enjoyed soccer very much. Now I study English every day. It is very interesting.

(1) タカシは夏にどこを訪れましたか。

- 1 仙台の兄の家 2 仙台の友達の家
3 ロンドンの兄の家 4 **ロンドンの友達の家**

【正答】 4

平均正答率 浦安 71.4% 全国 57.2%

【2と誤答】 浦安 19.7%

登場人物(Takashi, Bob)と場所を表す語句(in Sendai, in London)との関係について前後の内容を正しく理解できていないことが考えられる。

読むこと5(1)③

出題の趣旨 語形・語法を理解することができる
(一般動詞過去形の文)

次の対話文が成り立つように、()に入る最も適切なるものを、あとの1～4から1つずつ選びなさい。

A: Did your sister () the piano yesterday?
B: No, she didn't.

- 1 **practiced** 2 practices 3 practiced 4 practicing

【正答】 1

平均正答率 浦安 47.2% 全国 30.3%

【3と誤答】 浦安 41.2%

一般動詞疑問文の際、動詞を原形にすることが定着していないことが考えられる。

読むこと7(2)

出題の趣旨 長文の内容を把握することができる。

次の英文は、タクヤ(Takuya)が校内テレビ放送で話しているものです。よく読んで、あとの問いに答えなさい。

Look at this picture of a cat.
Last Wednesday, I played baseball with my friends at the park. I saw a sick stray cat there. I took her to the animal hospital near the park. And I went home with her.
At home, I talked to my family about that. And we are taking care of the cat now. I saw the cat on Wednesday, so the name is Sui. Now Sui can play in my house. And she can swim well, too!
My family and I like cats very much, and Sui is the fifth cat in my house. We have five cats now! But that's too many for us. Does anyone want a cat? Cats are very interesting.

(2) なぜ、タクヤはネコの名前をスイ(Sui)としたのですか。最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

- 1 **タクヤが水曜日に見つけたから。**
2 そのネコはスイカが好きだから。
3 タクヤは水色が好きだから。
4 スイスイ泳げるネコだから。

【正答】 1

平均正答率 浦安 69.0% 全国 65.2%

【4と誤答】 浦安 24.2%

4は文中にある内容ではあるが、問いに対する答えとしては適さない。ここでは、I saw the cat on Wednesday, so the name is Sui.にある接続詞“so”を「だから」と読み取れていないことが、誤答につながっていることが考えられる。

学力向上に向けてのポイント

- 聞くこと
まとまりのある英語を聞いて話の概要をとらえるためには、全体像をつかみとるような聞き取りをする必要がある。具体的には、時間、展開に沿って絵や文を並べ替える活動や、SWHMに着目して聞き、時間、内容を整理する活動を行う。
 - 書くこと
疑問文は Yes/No 疑問文、or を含む選択疑問文、Wh-疑問文などを指導するが、それぞれの基本的な特徴、応答の仕方の違いなどを捉えさせて理解させる必要がある。使用場面を意識した言語活動を行い、「話して書く」「読んで書く」など、複数の領域を統合して「書く」活動を繰り返す。
 - 読むこと
説明文などの大切な部分をとらえる際には、文章全体を通して読み、複数の情報の中から、書き手が最も伝えたいことは何であるかを判断できるようにする。
- 授業では、
- ① 全体の大まかな内容をとらえる
 - ② 各段落の最も大切な内容を表す英文を選ぶ
 - ③ それらを比較するなどして文章の最も大切な部分について意見交換をする
 - ④ 動詞の時制や接続詞に着目し、時間、内容を整理する活動